

キーワードを入力

ユーザーページ

購入履歴

トップ | 速報 | ライブ | 個人 | 特集 | みんなの意見 | ランキング | 有料

新着記事一覧 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT・科学 ライフ オーサー一覧 コメンテーター一覧

# デジタル庁が成功するための2つの条件

森信茂樹 | 東京財団政策研究所研究主幹 中央大学法科大学院特任教授  
2020/12/28(月) 12:23

ツイート シェア ブックマーク



(提供: ideyuu1244/イメージマート)

コロナ禍で明白になったわが国のデジタル基盤の脆弱性。急遽デジタル庁の創設やマイナンバーの本格整備に向けて議論が行われ、来年の通常国会に法案が提出されることとなった。

9月1日をめどに設立されるデジタル庁は、「デジタル社会の形成に関する司令塔として、強力な総合調整機能（勧告権等）を有する組織とする」ことが閣議決定されている。

具体的には、「基本方針を策定するなどの企画立案や、国、地方公共団体、準公共部門等の情報システムの統括・監理を行うとともに、重要なシステムについては自ら整備する。これにより行政サービスを抜本的に向上させる。」こととされている。

筆者は、行政のデジタル化は必要だが、それはあくまで「基盤の整備」であって、真に必要なことは、形成されたデジタル基盤を活用して「国民目線に立ったどのような行政・政策を行うか」という点だと考える。

一例を上げると、コロナ禍で今後必要となる各種給付制度について、デジタル庁も制度設計段階から関与することである。マイナンバー制度を活用して給付の必要な者を見つけ出し迅速な執行につなげる制度の設計はデジタル庁しかできない。

マイナンバー制度は、税、社会保障、災害の3分野だが、事実上奨学金事務にも拡大されている。今後、マイナンバー制度の活用範囲を広げる各種の政策を所管官庁に促すことも「勧告権等」に入るべきだと考える。

## Yahoo! JAPAN 特設ページ

新型コロナウイルス感染症まとめ

【新設】「Yahoo!ニュース 公式コメンテーター」一覧

## 有識者・専門家がニュースに切り込む

「Yahoo!ニュース 個人」のオーサーによるコメントをチェック

## 個人アクセスランキング（国内）

- 1 クルマが雪に埋まった！「外気導入」のスイッチ操作と除雪ひとつが生死を分ける  
柳原三佳 1/5(火) 7:04
- 2 寒さと大雪に警戒 1月7日からの寒気は今冬一番の寒気  
饒村曜 1/5(火) 4:18
- 3 人々はなぜ行動変容できないか・・・再度の緊急事態宣言の前に考えるべきこと  
原田隆之 1/5(火) 9:00
- 4 再度の緊急事態宣言、都が発令を求め、国が発令をためらう理由とは  
大濱崎卓真 1/2(土) 13:51
- 5 海の日、スポーツの日、山の日の移動が確定 オリンピック中止ならどうなる？  
前田恒彦 1/4(月) 8:15
- 6 竹中平蔵氏「一生懸命働いている人がなぜもっと豊かになれないんだろう」 少年期の想いと分離する今の存在  
藤田孝典 1/4(月) 18:49
- 7 困っても「生活保護だけは受けたくない」人たち 片山さつき氏は過去の言動を謝罪・撤回すべき時期だ  
藤田孝典 1/5(火) 18:53
- 8 「逃げ恥」が描く「つわり・男性育休・コロナ禍の子育て」とマイノリティの生き方  
なかのかおり 1/4(月) 11:30
- 9 「消えたシウマイ弁当」2020年最も読まれた記事に見る食の支援のあり方とは？  
井出留美 1/4(月) 11:00
- 10 コロナ入院患者の割合では日英の差はそれほどないという衝撃

もう一つ視点がある。、筆者は、菅官房長官(当時)の下で6月に立ち上がった「マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤抜本改善ワーキンググループ」(以下、ワーキング)にメンバーとして参加した。月一回程度の議論を経て、2020年12月11日に「報告書」と新たな「工程表」を了解し、21日の閣僚会議で正式決定された。

この議論を通じて感じたことは、「技術屋」と「政策屋」の連携の重要性だ。ワーキングメンバー6人のうち筆者以外は「技術屋」である。皆さんIT技術に造詣が深く、経験も積んだ方々だ。一方筆者は、役所出身の「政策屋」(法律屋)である。そこで実感したことは、技術論のむつかしさに加えて、国民目線でデジタル社会の形成がなぜ必要なのかということを知りやすく説明することの必要性・重要性だ。そのためには「技術屋」と「政策屋」が一体となって議論する必要がある。

行政のデジタル化は「手段」であり、重要なことは、便利な手段を活用してどのような国民目線の「政策」を構築するのかということだ。デジタル庁は、この原点を忘れてはならない。

ツイート シェア ブックマーク



森信茂樹

東京財団政策研究所研究主幹 中央大学法科大学院特任教授

1950年生まれ。法学博士。1973年京都大学卒業後大蔵省(現財務省)入省。財務省では主に税制分野を経験。その間ソ連、米国、英国に勤務。大阪大学、東京大学、プリンストン大学で教鞭をとり、財務総合政策研究所長を経て退官。(一社)ジャパン・タックス・インスティテュートを運営する一方、日本有数の政策シンクタンク、東京財団政策研究所で「税・社会保障調査会」を立ち上げ、税・財政や社会保障の政策提言を行っている。著書に、『日本の税制 どこが問題か』(岩波書店)、『税で日本はよみがえる』(日経新聞出版)や、GAFAの税負担問題やデジタル経済における税のあり方を徹底追究した『デジタル経済と税』(同)など。

森信茂樹の最近の記事

次期政権の課題は、フリーランスのセーフティーネット 2020/8/29(土) 15:13



骨太方針から突然消えた財政目標 2020/7/9(木) 9:00



マイナンバー口座番号、国はきちんと説明しリーダーシップを発揮すべき 2020/6/11(木) 15:37



ポスト・コロナ、財源なきベーシックインカムなどポピュリズムを排して冷静な議論を 2020/5/4(月) 14:23



森信茂樹の記事一覧へ(12)

おすすめのテーマ

フォローとは?

森信茂樹 10 フォロワー



デジタル庁 228 フォロワー



情報セキュリ... 8,934 フォロワー



あわせて読みたい

2021年、若者政策の注目テーマとは誰のための補正予算か? 「GoToトラベル」命働いている人がなぜもっと豊かになれ 竹中平蔵氏「一生懸命働いている人がなぜもっと豊かになれ 東日本大震災から10年 問われる日本の

的な現実を考えてみた

木村正人 1/5(火) 20:16

もっと見る

個人の書き手も有料ニュースを配信

なぜ久保健英の移籍は決まらないのか? レアル、ヘタフェ、ビジャレアル、それぞれの思惑とは。

「中国政府がアリババの事業拡大を阻止する理由」牛さん熊さんの本日の債券(コラム) 2021年1月6日

40歳。ダンサー。一緒にいてお互いに面白そうならば60代男性とでも結婚したい〜オネット会員その33~